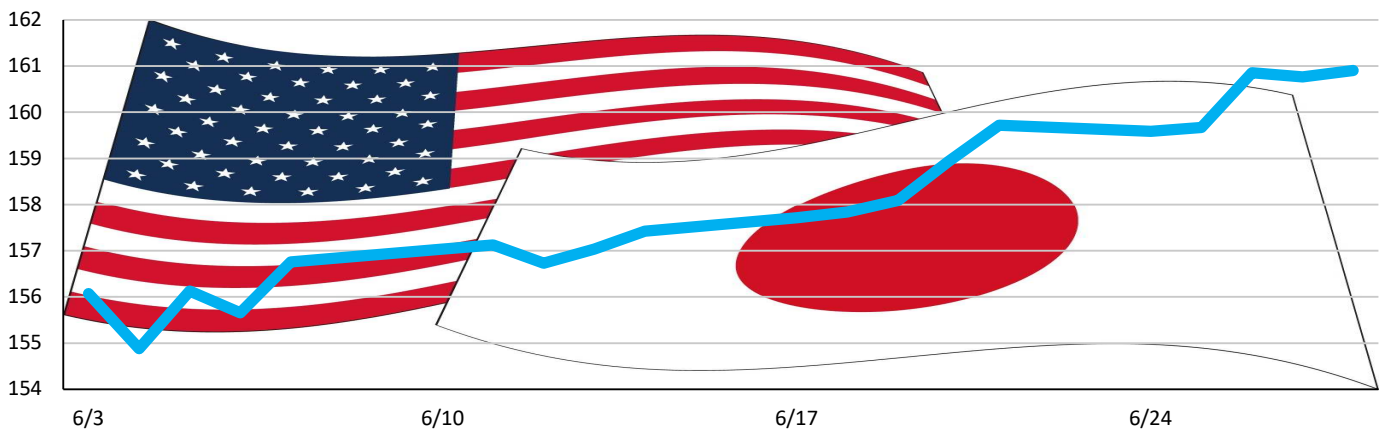


MONTHLY REPORT

先月の振り返り：6月のドル円相場は154円半ば～161円前半で推移。月初から米経済指標発表の強弱に振り回される展開。米消費者物価指数が市場予想を下回りドル売りで反応したが、米FOMC後には利下げ観測が後退し一転してドル買いに。日銀金融政策決定会合では政策金利が据え置かれ円売りとなったが、日銀の植田総裁が7月利上げの可能性に言及したことで円高となるなど乱高下は続いた。その後は、米財務省が為替報告書を発表し、日本を監視対象に加えたことで政府・日銀が為替介入に踏み切りづらくなるとの見方や、各米連銀総裁から利下げに消極的な発言が相次ぎドル買いが進行。さらにボウマンFRB理事が、必要であれば利上げの用意もある、との発言で一段とドル買いが進み約38年ぶりの161円台に達した。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



MARKET REVIEW

生成AI：これまでのAIは、与えられたデータの整理・分類を学習し、その結果に基づいて予測を行う決められた行為の自動化を目的としていた。これに対して生成AIは、与えられたデータ以外にデータ同士の関係性や複数の情報に共通した法則性などを自ら学習し、新たなコンテンツを生み出すことができるため重要性が高まっている。しかし、収集時のデータが誤っていた場合、その誤った情報に基づいて生成してしまう可能性や、情報漏えいのリスクなども指摘されており、人間の精査・確認が必要となっている。このような問題点を指摘されながらも生成AIは進化し続けており、ひとつひとつ課題を解消しながら市場がさらに拡大していくことが予想される。生成AIは無数の可能性を秘めている。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
7 / 18 (木)	21 : 15	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
7 / 25 (木)	21 : 30	US	米GDP速報値	☆☆☆☆
7 / 31 (水)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
8 / 1 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
8 / 2 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
8 / 14 (水)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
8 / 15 (木)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆